

小売業(スーパーマーケット)における安全衛生
店舗責任者向け

安全で健康に働く

中央労働災害防止協会
(令和7年度厚生労働省補助事業)

令和8年3月



セッション1

小売業における 労働災害の現状とリスク

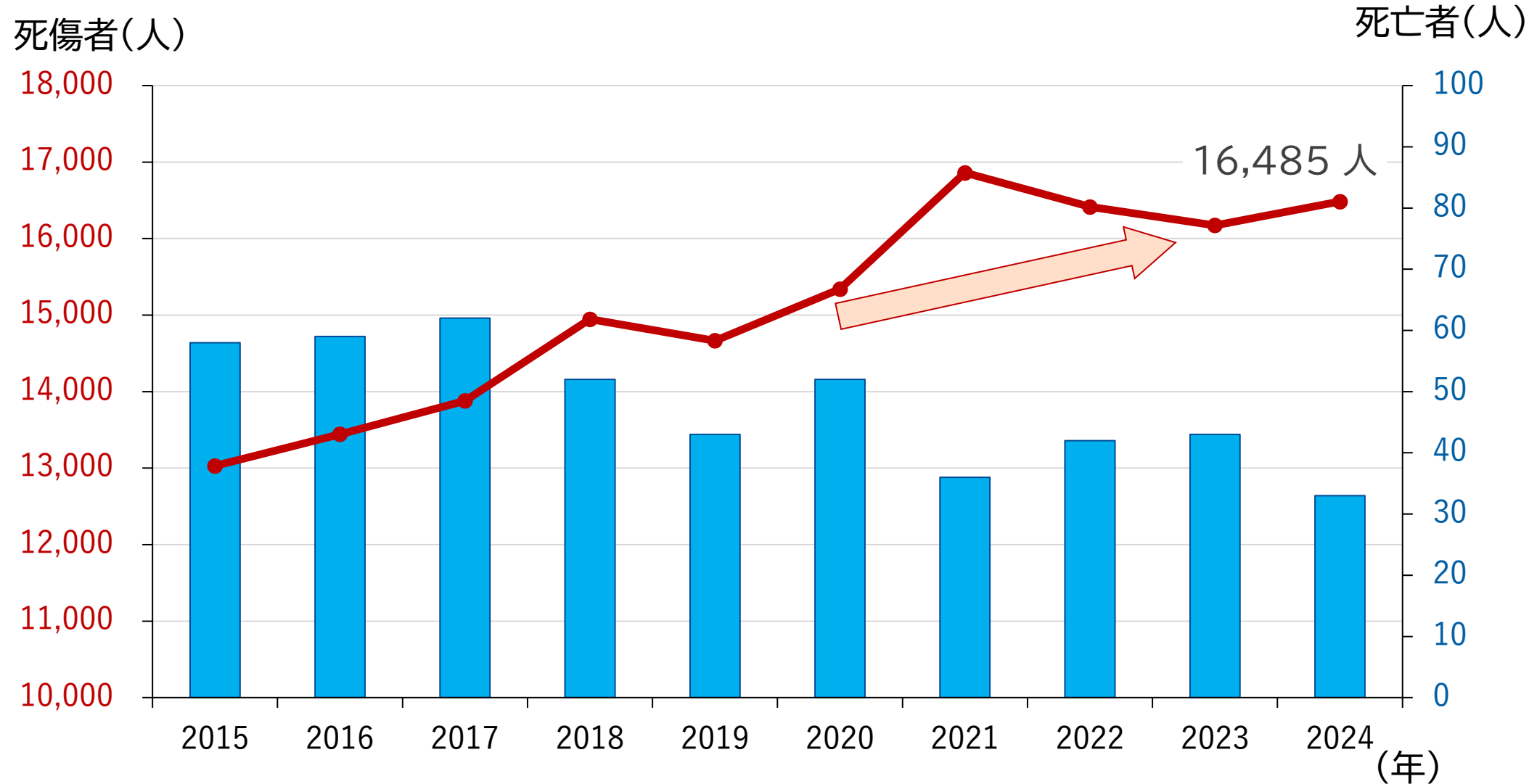
労働災害(労災)とは

労働者が仕事中や通勤中に負った
ケガや病気、死亡事故など



労災隠しは行政処分対象
店舗責任者の責任問題に発展

小売業の労働災害発生状況の推移



厚生労働省:「労働者死傷病報告」による労働災害状況



どのような労働災害が起きているのか



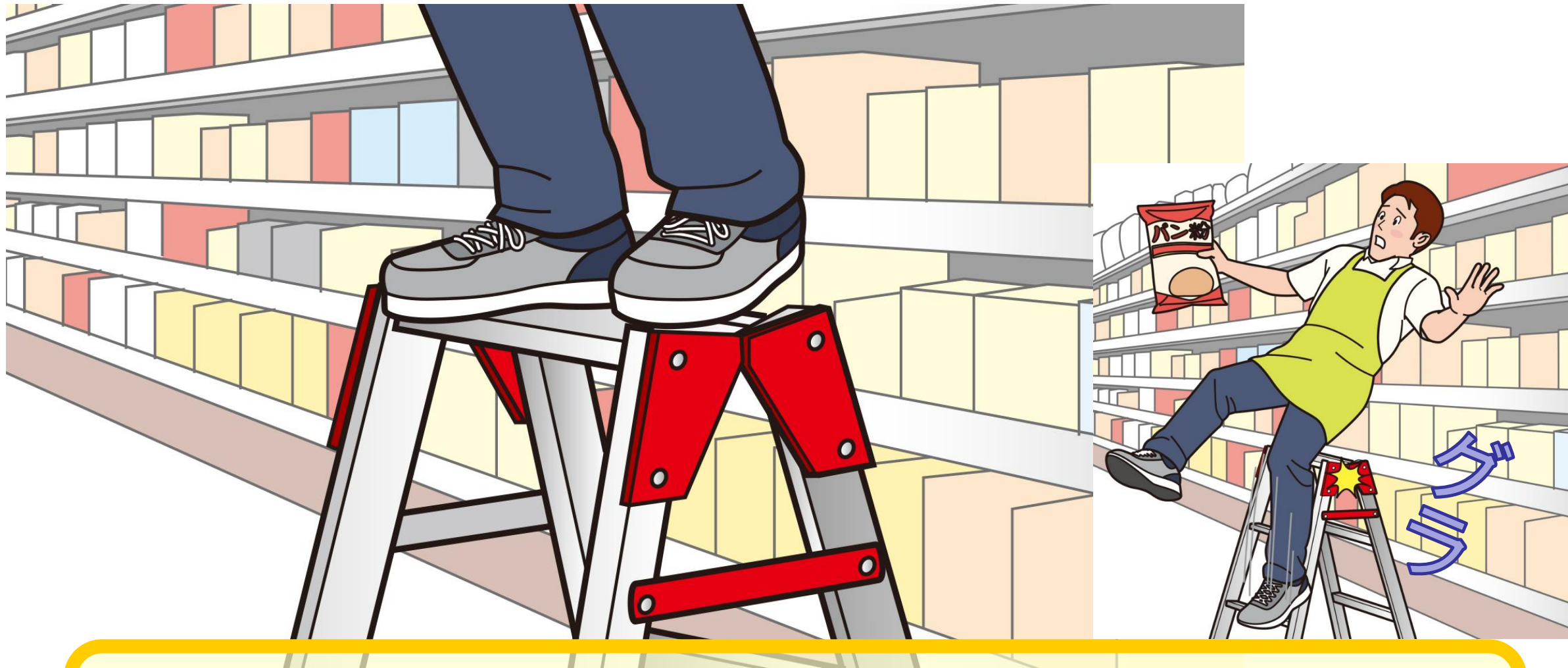


事例①
床の水濡れ、小走りが招いた転倒事故



事例②

バックヤードの整理整頓不備による転倒事故



事例③

脚立の天板に乗り、バランスを崩して墜落災害！



事例④

見落とししがちな危険：冷凍庫の床面凍結



事例⑤

飲料ケース移動作業中に発生した腰痛災害

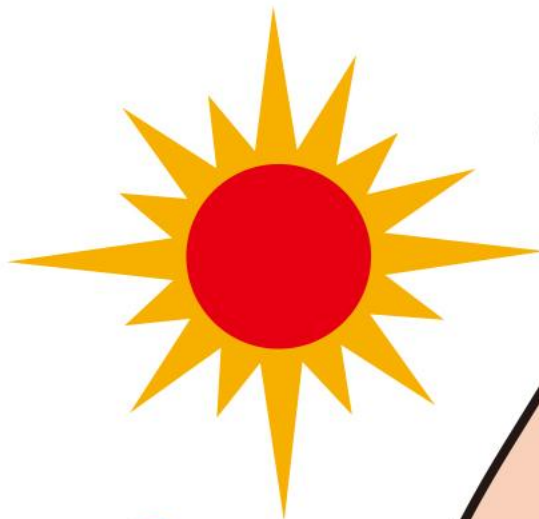


事例⑤

「手が滑った…」その一瞬がケガにつながる！



熱中症



混ぜるな危険！



洗剤



きけん！

An illustration featuring several household items: a step ladder on the left, a cutting board with a knife in the upper center, a pot of boiling food in the lower center, a shopping cart in the lower right, and a refrigerator filled with various food items on the right. Overlaid on this illustration is the Japanese text "職場は安全に見えても 油断がケガのもと!".

**職場は安全に見えても
油断がケガのもと!**

安全に働くために
労働災害、なぜ起こる？

荷物を持って急いで歩く → 危険な行動



通路に物が放置されている → 危険な状態

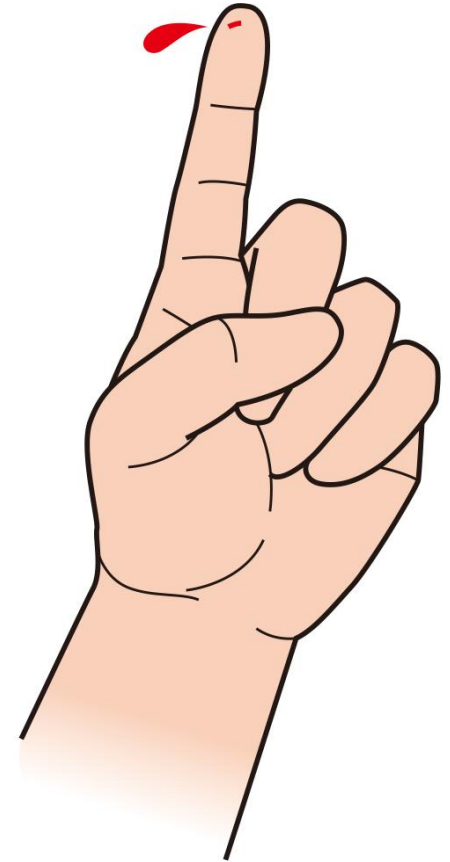
事故発生

危険な行動

滑る靴、小走り、刃物の接触 = 安全とは言えない行動

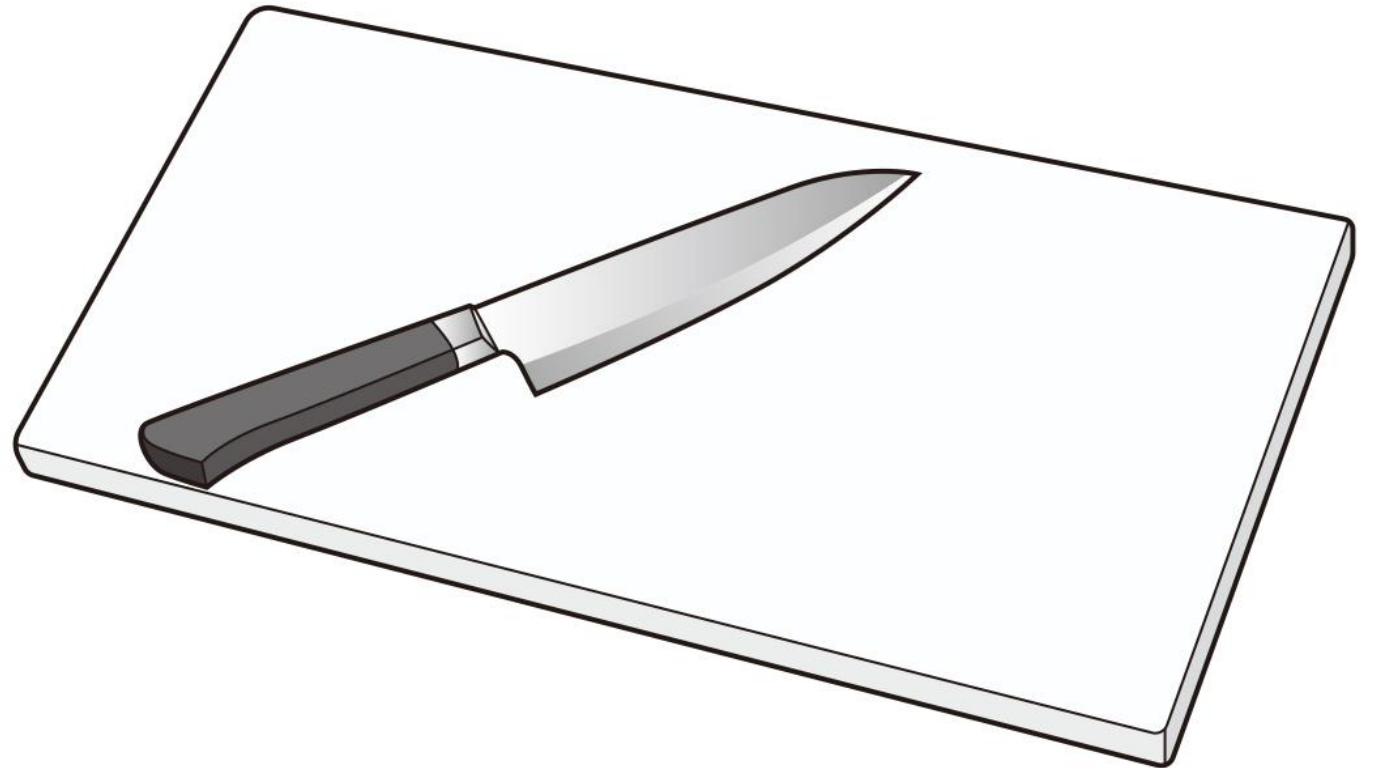
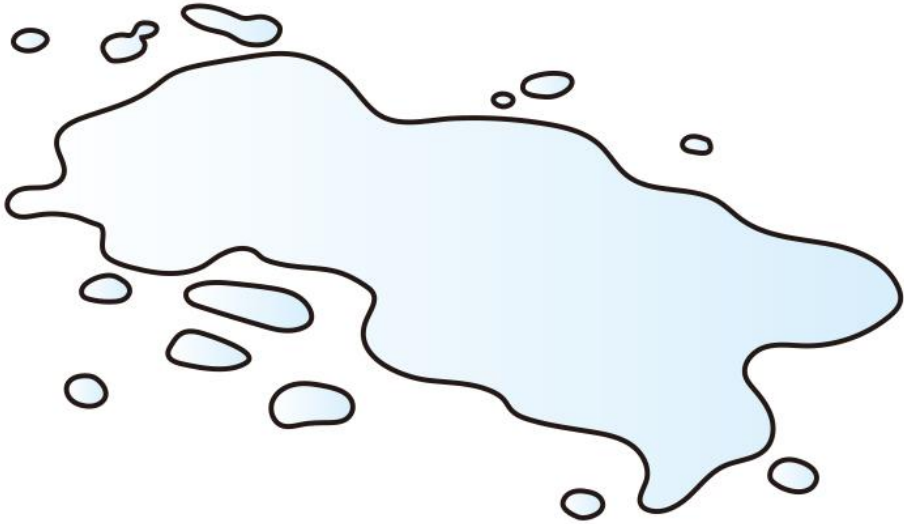






危険な状態

拭き残し・刃物の放置





労働災害、どうしたら防げる？



危険な状態

危険な状態を作らないためにできることとは

整理(Seiri)



整頓(Seiton)



整理整頓は安全の第一歩

清掃(Seisou)



清潔(Seiketsu)



汚れは放置しない → 定期的な掃除が安全をつくる



整理
(Seiri)

清掃
(Seisou)



4S

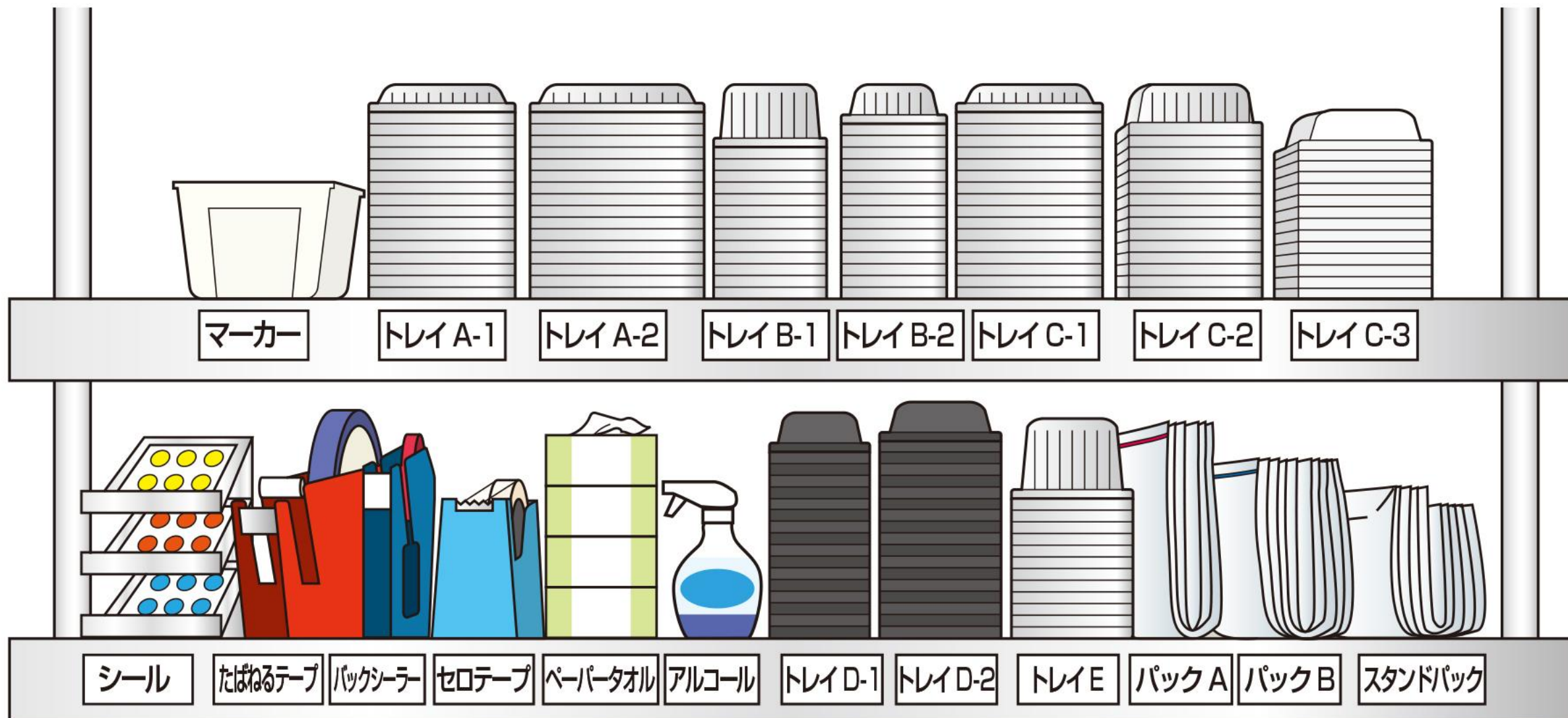


整頓
(Seiton)

清潔
(Seiketsu)



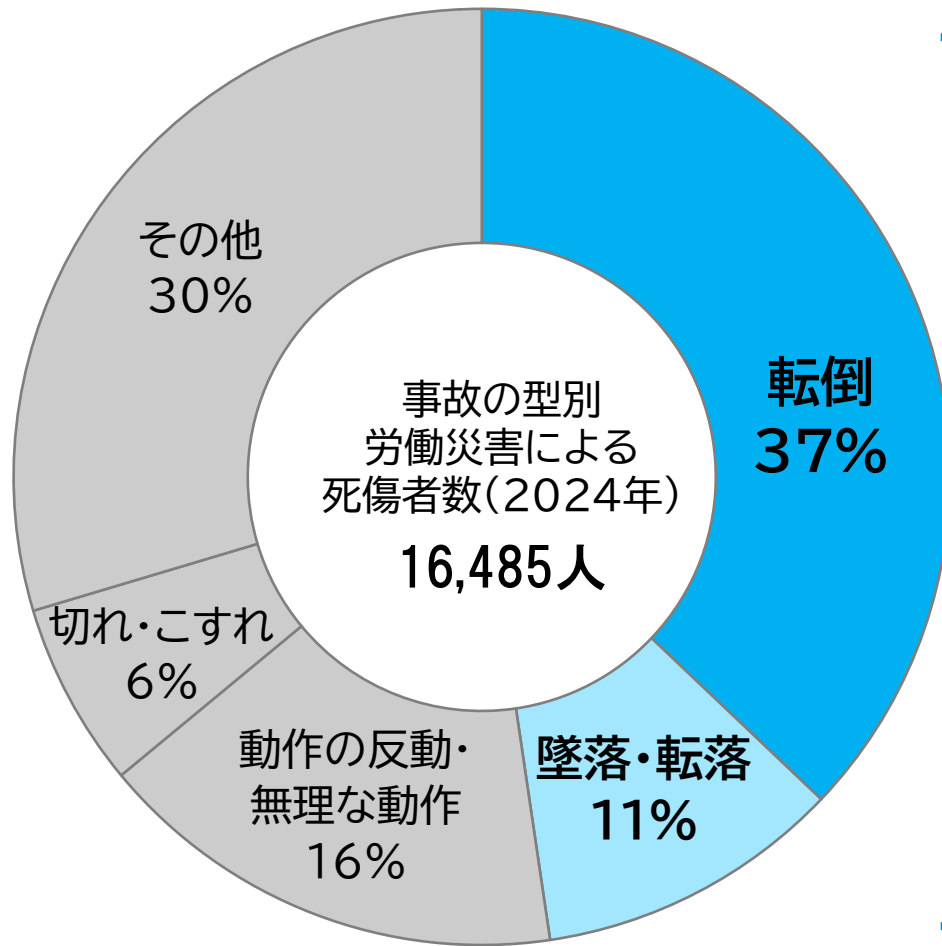
4Sが労災を防ぐカギ



働きやすい職場は、定位置管理から

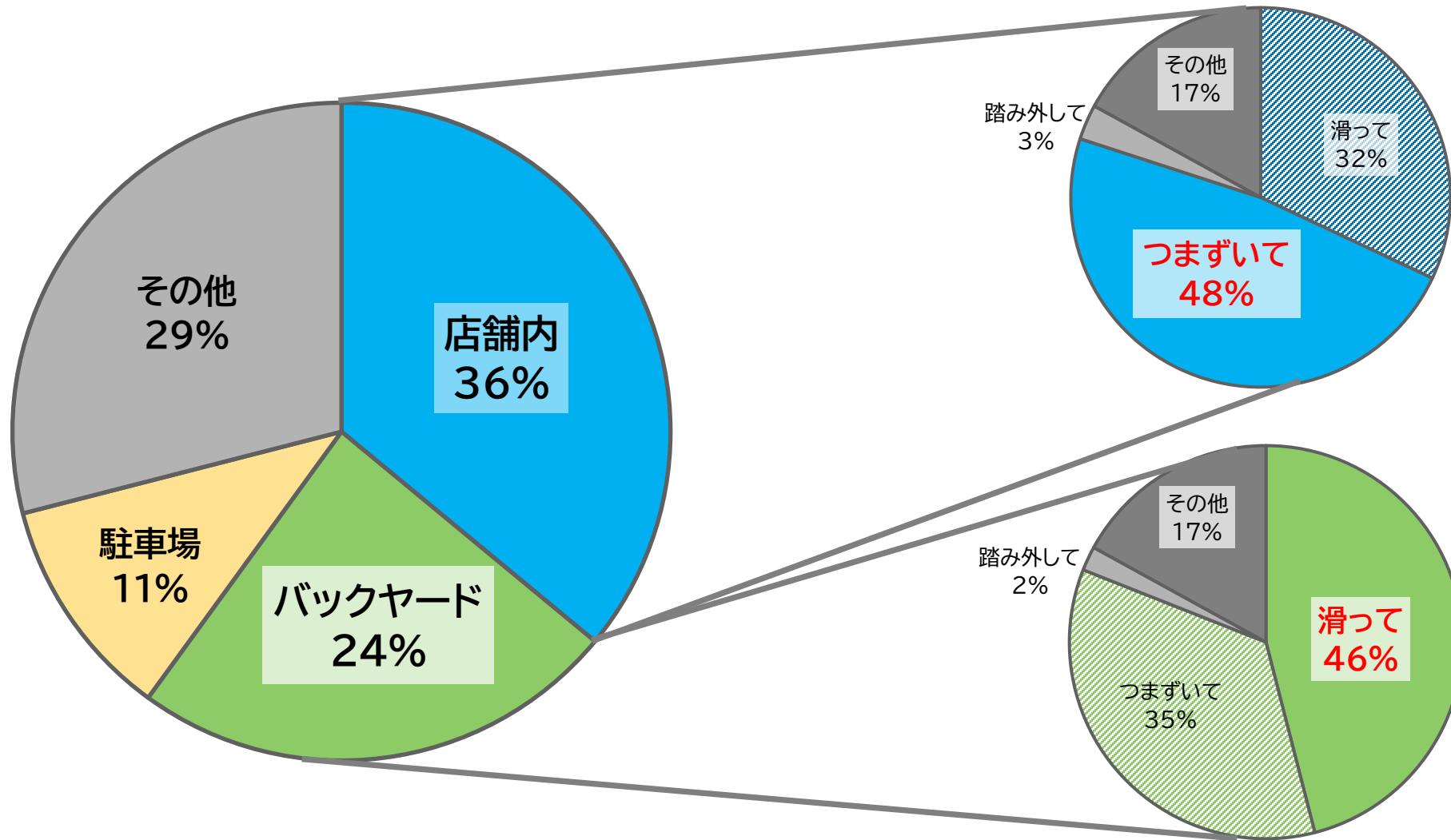
セッション2

店舗で多発する労働災害の防止対策



転ぶ・落ちる事故
全体の **約半分(48%)**

小売業で最も多い労働災害は「**転倒**」事故



店舗内・バックヤードで起こる転倒の特徴

転倒によるケガ

- 骨折(約70%)
- 打撲
- 失明
- 外傷性気胸 等



転倒災害による
平均休業日数

47日

転倒は「よくある」では済まない、**深刻な障害**の原因に



床の状態に気を配る

滑る・つまずくは誰にでも起こる



床がぬれていたら、すぐにふきましょう



荷物を持ち歩くときは足元も確認

小走り禁止

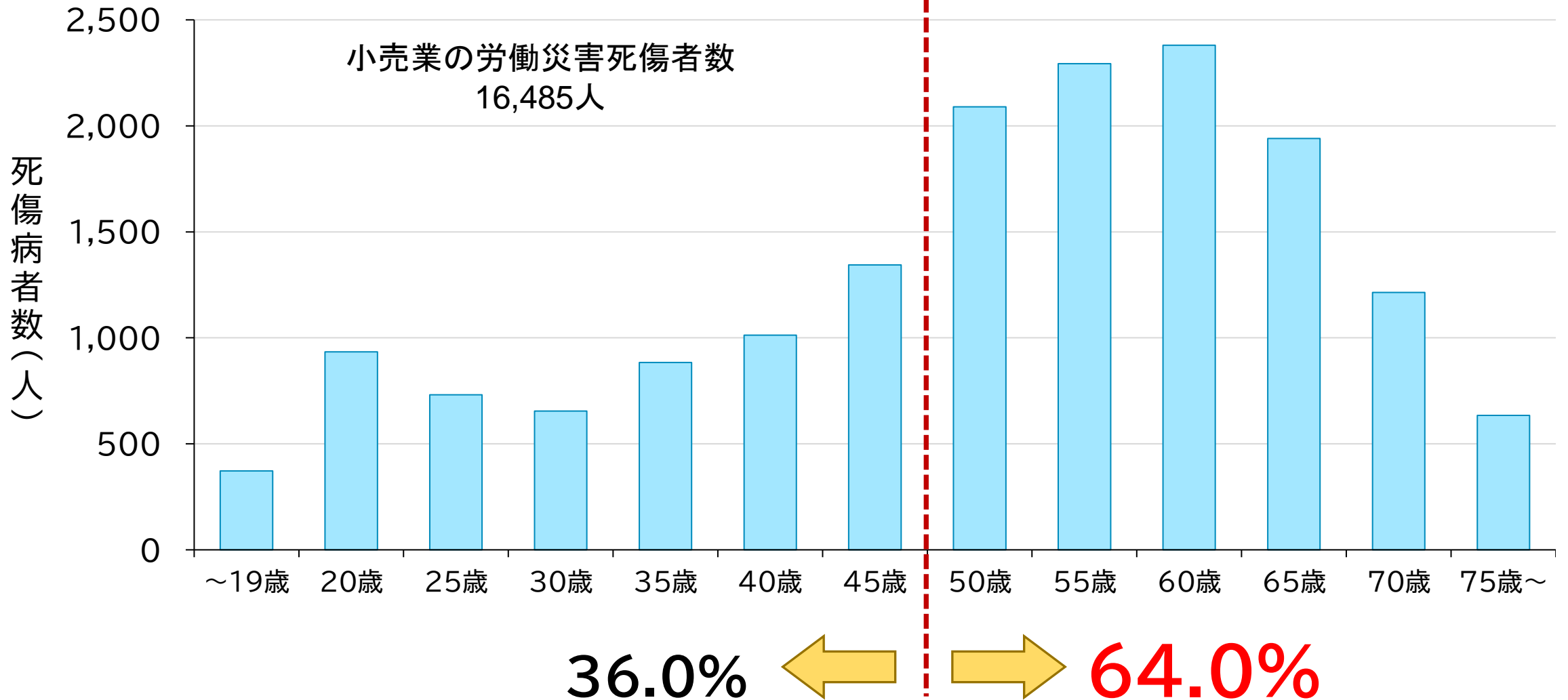
- 小走り禁止を店舗ルールの明確化
- 通路・バックヤードの整理整頓の徹底
- 余裕を持った作業割り当てによる“走らせない環境”の構築
- 「急がず、正確に」の日常的な声かけ
- 危険な動きの発見時のその場での制止



小走り禁止の防止策



転倒予防は、靴選びから



年齢とともに増える労働災害とからだの変化

加齢・高齢化

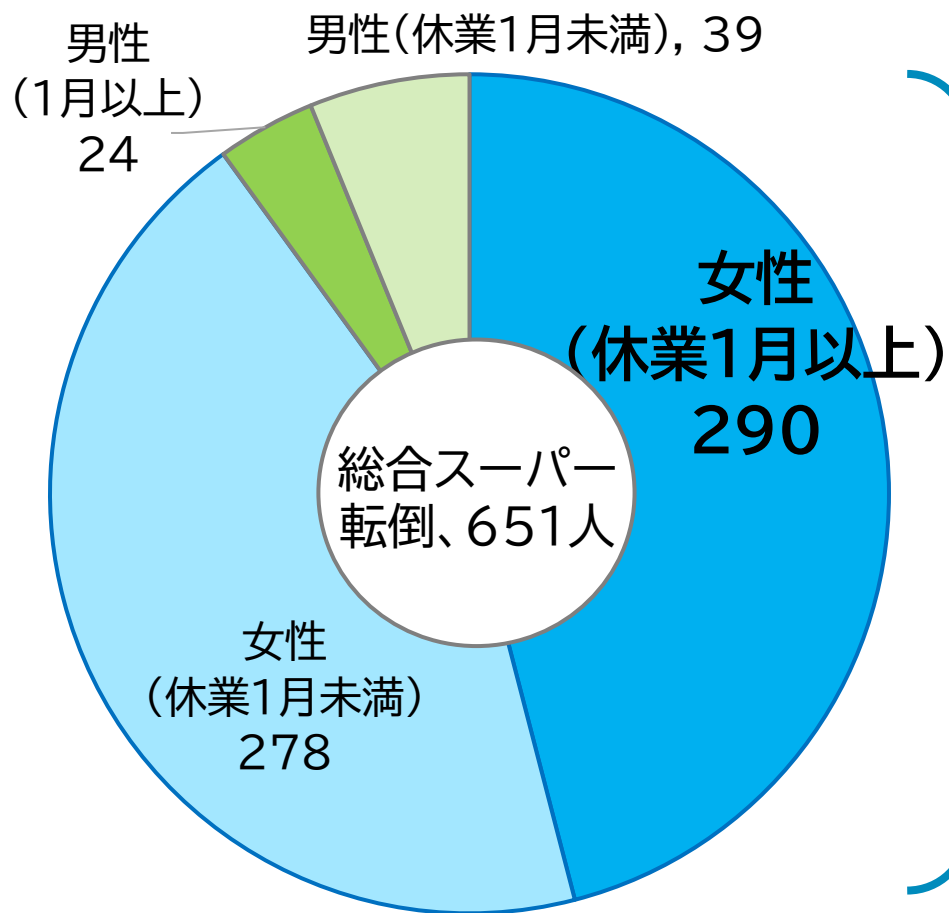
危険な行動
危険な状態

身体・認知
機能低下

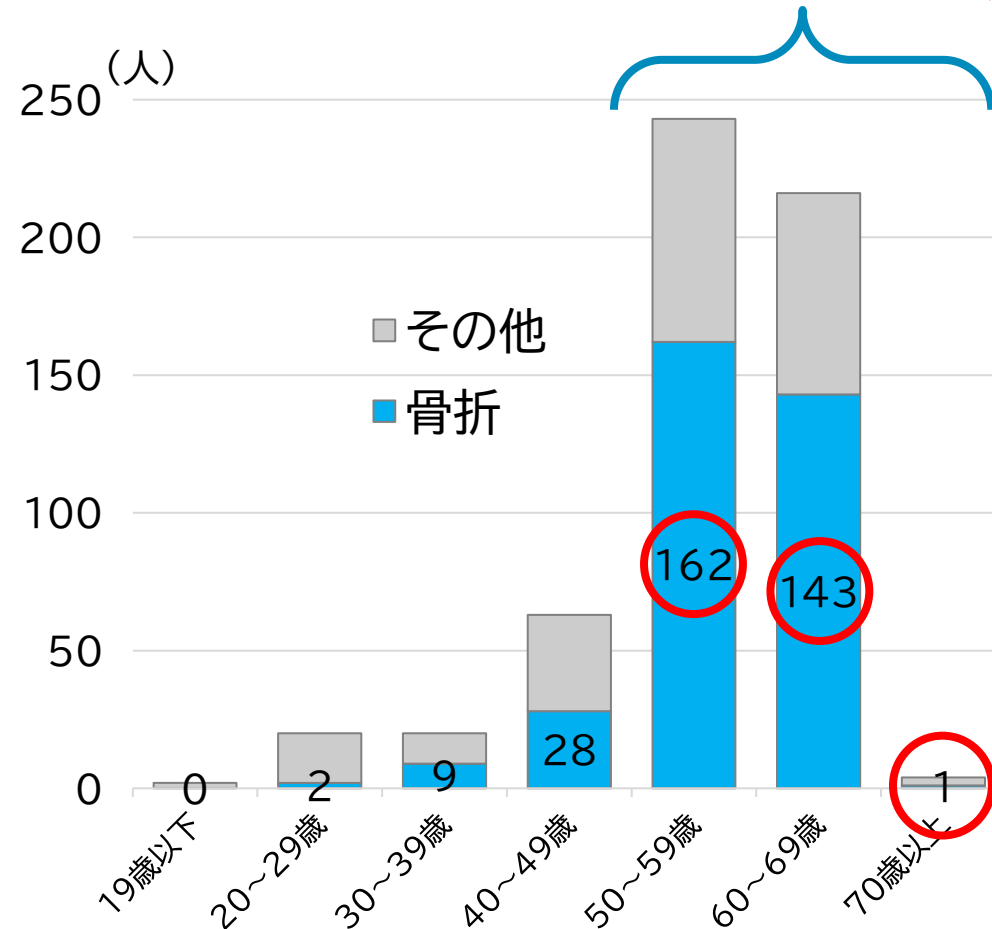
労働災害
増加



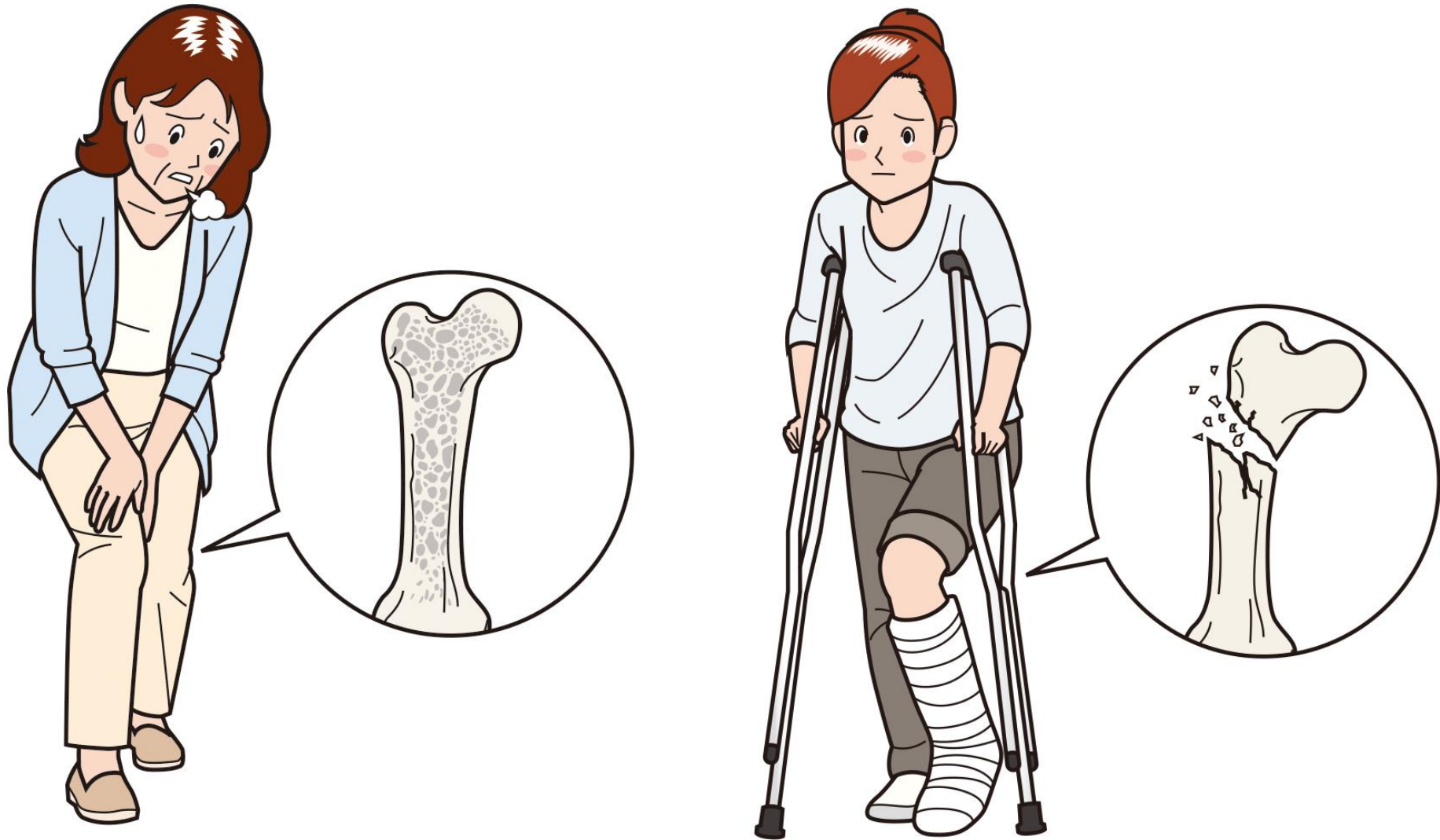
女性の転倒の約5割が休業1月以上



転倒した50歳以上の女性で**半数の人が骨折**



女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大



働く女性に迫る骨粗しょう症リスク

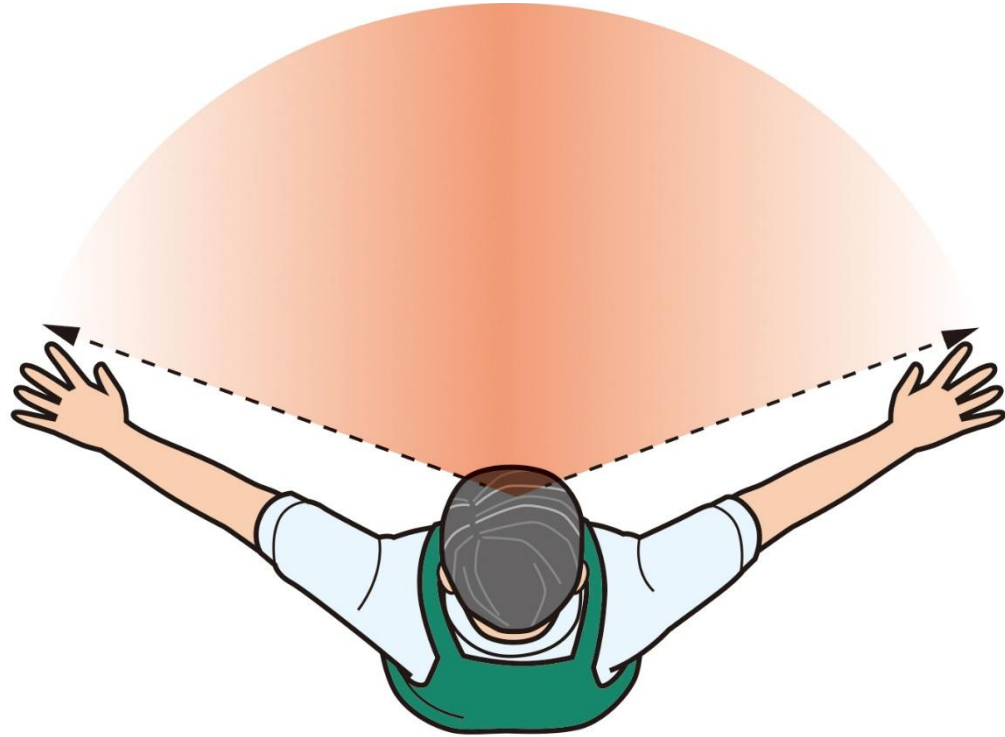


骨の健康チェック — 地域の検診を活用しよう



つまずきの背景に潜む体力低下

手を広げて、自分の視野を確認



40代から始まる“見え方の変化”



明るさの変化への慣れ

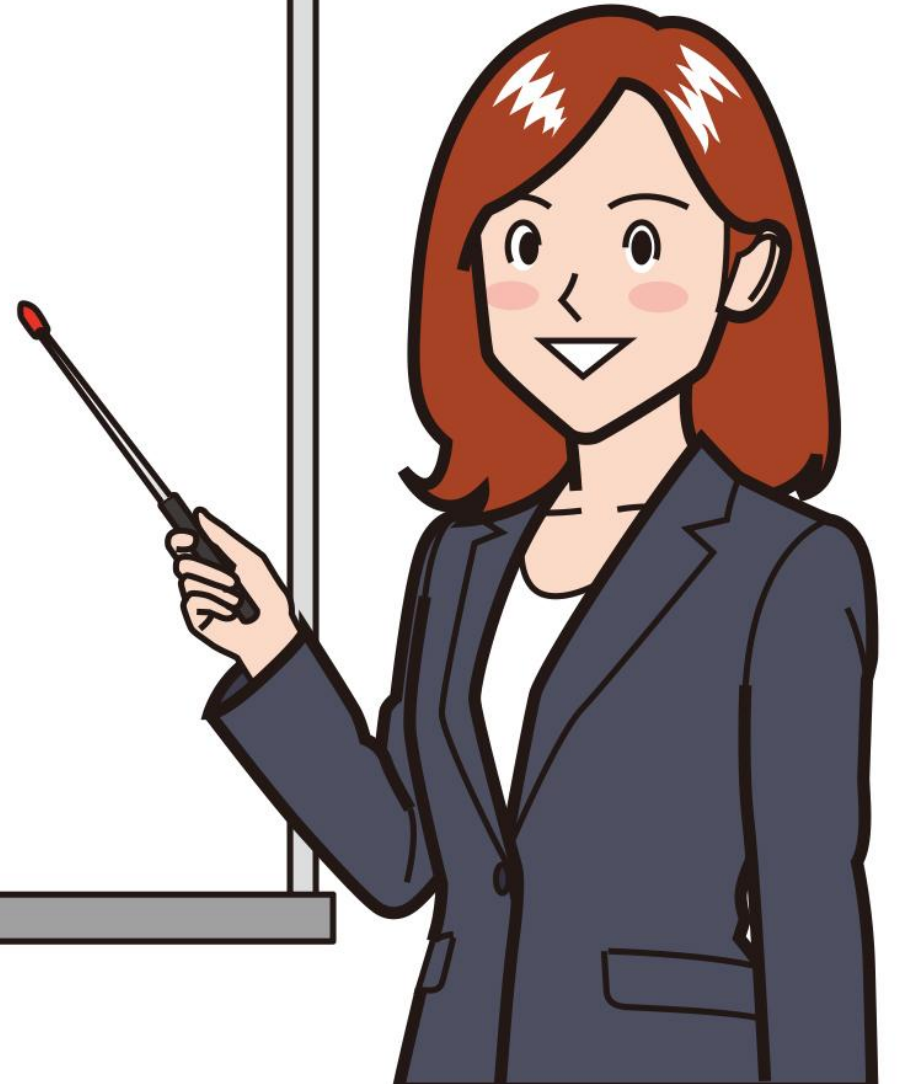
- コスト削減でバックヤードが暗くなる
- 高齢スタッフは「見えづらい」「作業しにくい」と感じる
- 暗さは、誤作業・転倒・疲労・作業効率低下につながる
- 照明改善で生産性が向上し、エラーが減る



適切な明るさの確保は「安全と効率への投資」

高年齢スタッフの 労働災害を防ぐには

- 無理をしない
- 日頃から体調管理を
- 正しい作業手順を守る
- 慣れてしている作業でも、油断せず
手順を確認しながら進める



- ペースを尊重する
- 声かけ・手順確認を習慣化
- 環境を整えて安全確保
- 経験を尊重し学ぶ姿勢
- 休憩・体調への気配り



高年齢スタッフの安全を支える職場の協力

高年齢労働者の安全対策 (令和8年4月施行)

環境整備(ハード)

段差解消

滑り防止

照明改善

作業見直し(ソフト)

重量物の負担軽減

作業内容・時間の調整

健康・教育

健康状態に応じた配置

高年齢者の特性理解
の教育

店舗責任者が今すぐやること

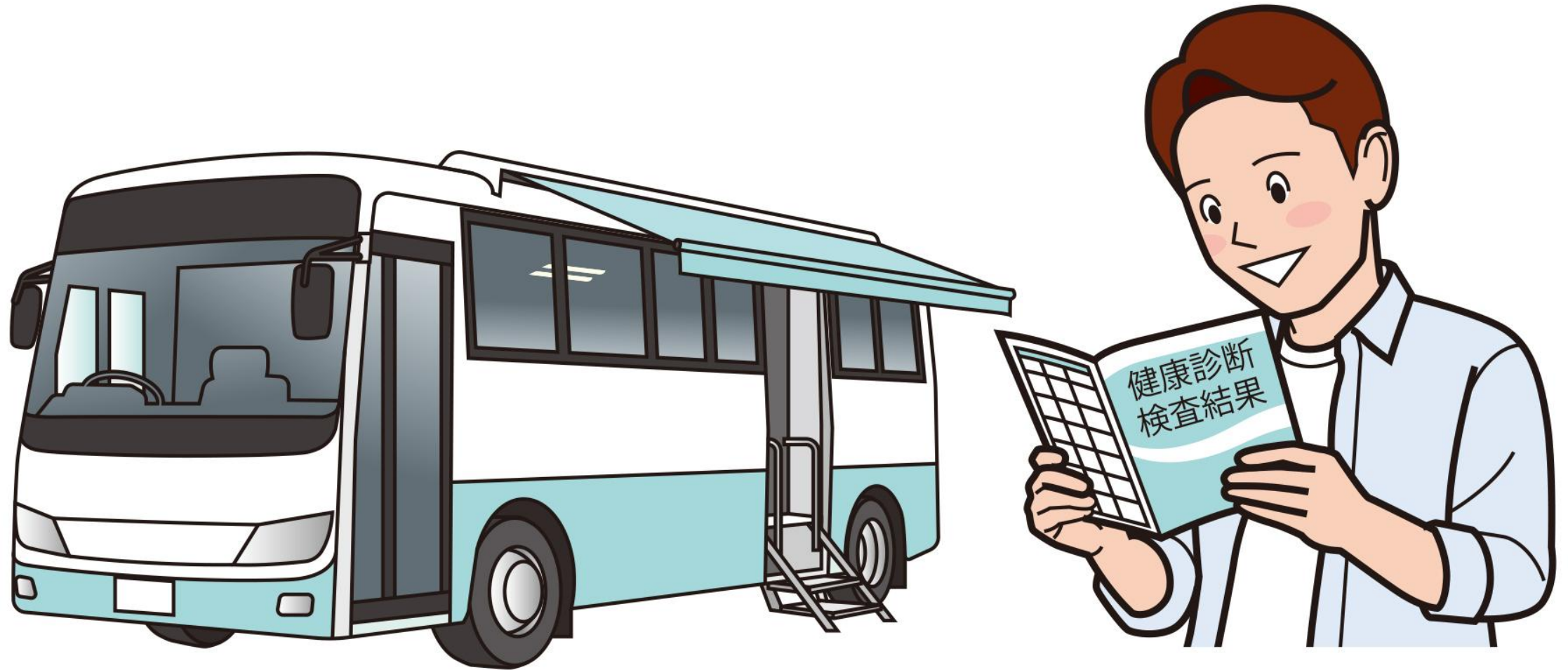
動線チェック

設備導入の検討

予算取り



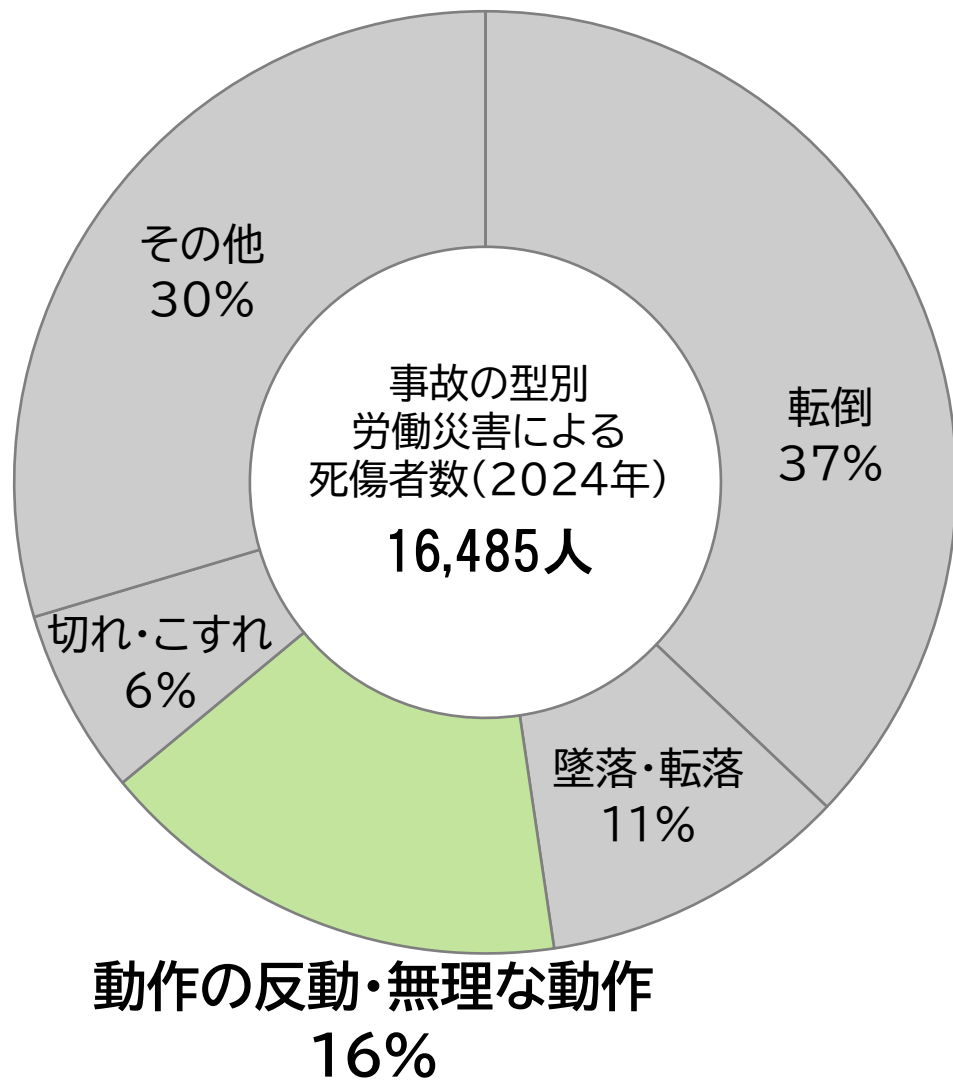
安全行動にも直結する健康



スタッフの健康診断は法令で定められている



日々の健康確認と意識づけ



事故の型別の中で
全体の**16%**



転倒の次に多い災害は「**腰痛**」を招く行動災害



腰を守る！持ち上げ動作のポイント

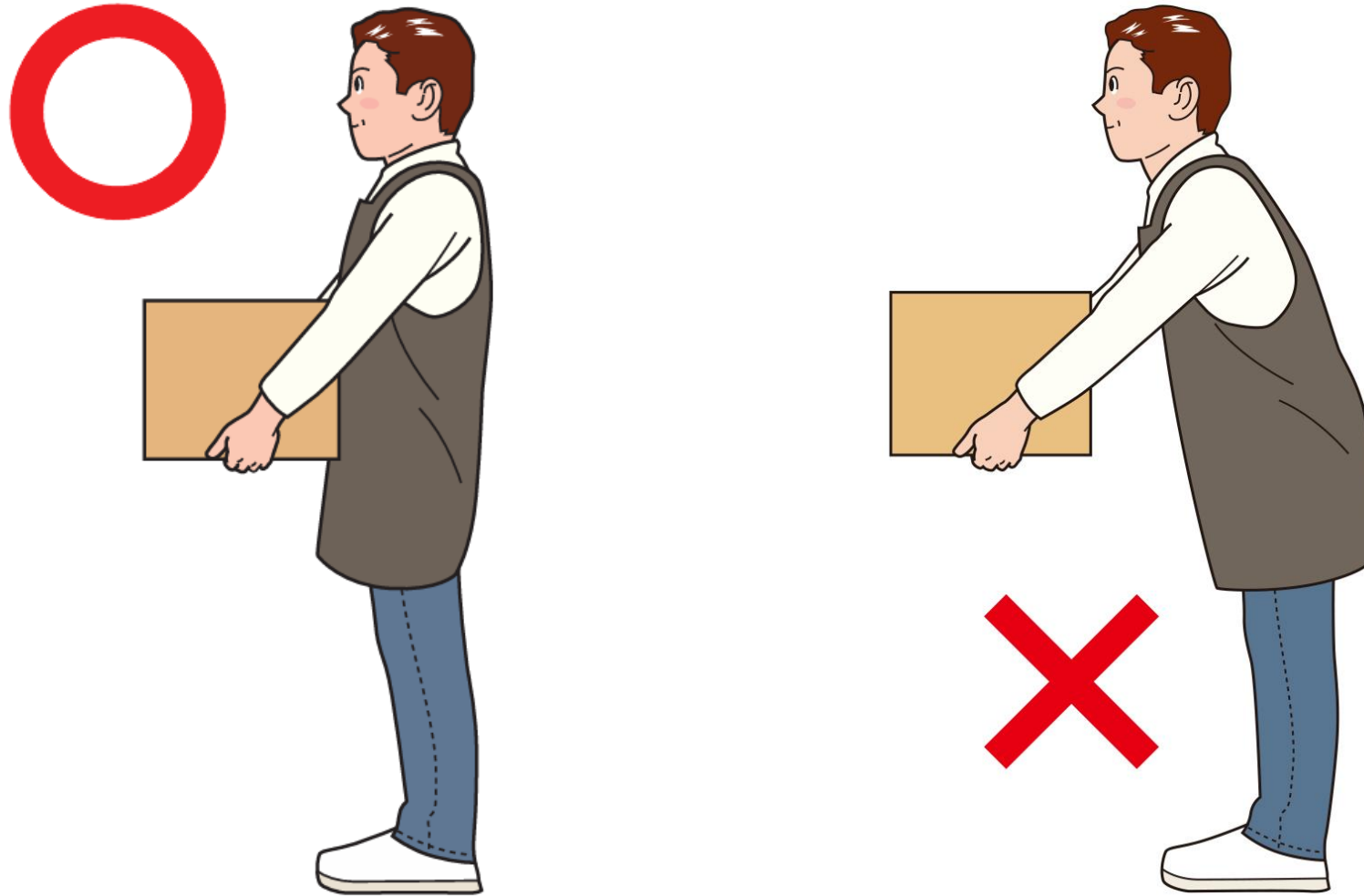
両膝付き作業



しゃがみ込み作業



低い商品棚を整理するときの安全姿勢



荷物は体に近づけて！

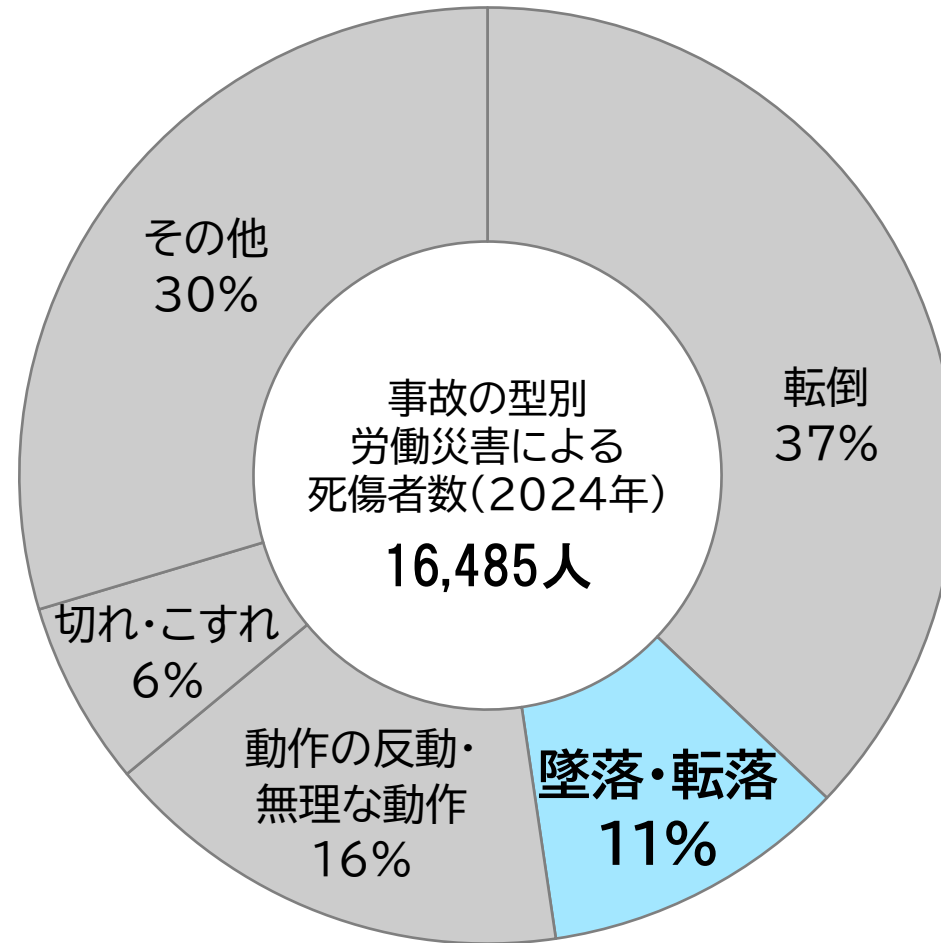
平行作業



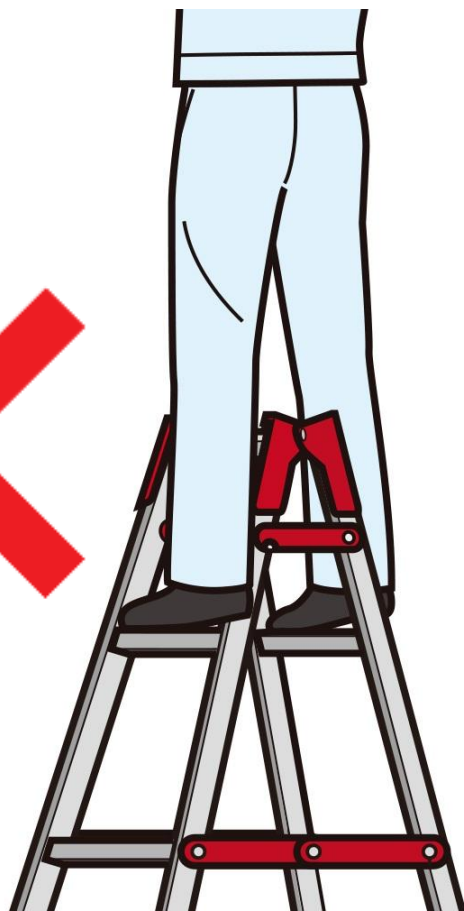
振り向き作業



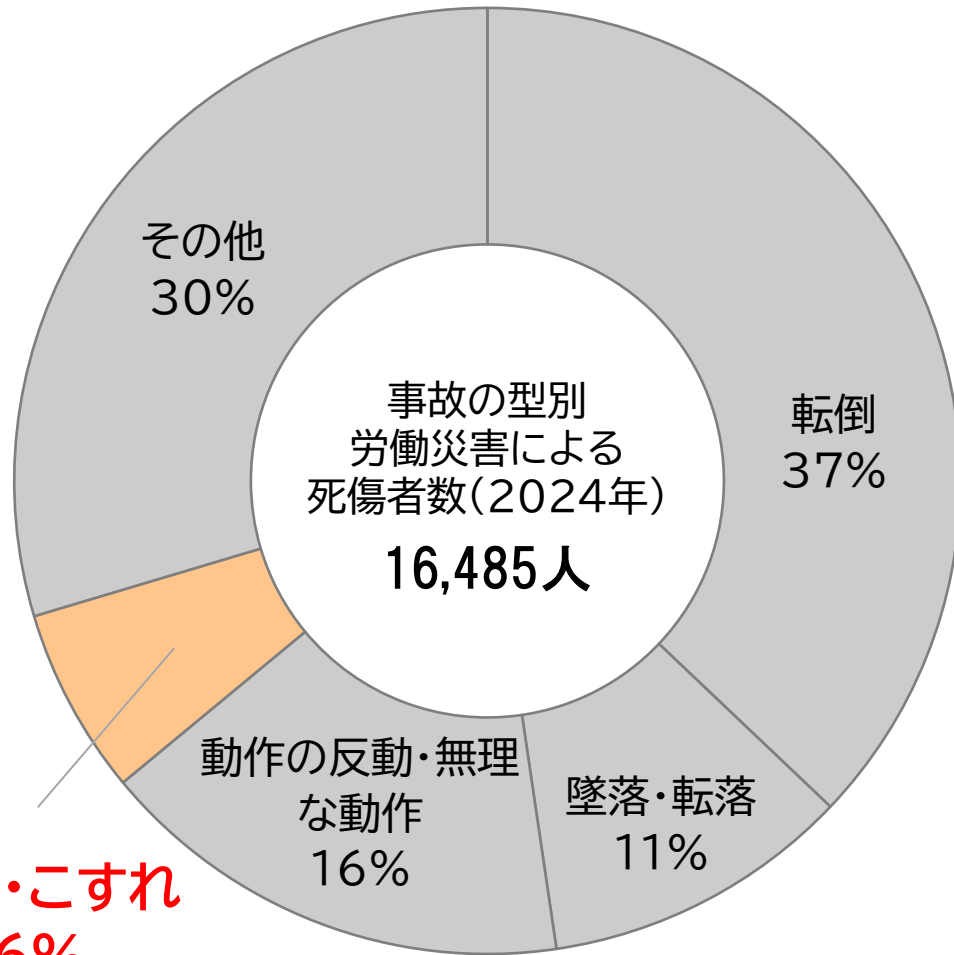
ひねり動作に注意！



重大事故につながる「**墜落・転落**」



脚立のまたぎ、天板乗りは絶対NG！踏み台を使おう



切れ・こすれ
6%

4番目に多い災害 「切れ・こすれ」

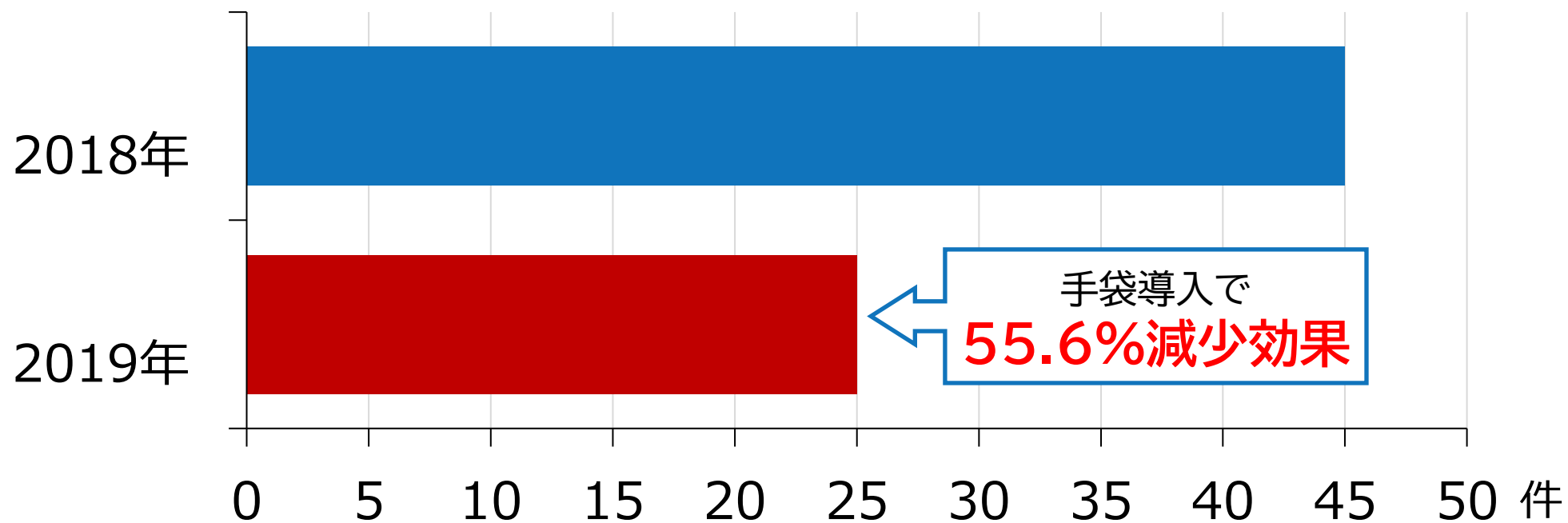


切創事故を防ぐために必要なこと



出典：「小売業、飲食店、社会福祉施設の労働災害を防止しよう 労働災害を減少させた好事例の紹介」
(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所、厚生労働省 令和2年7月

包丁作業は二重手袋で安全に



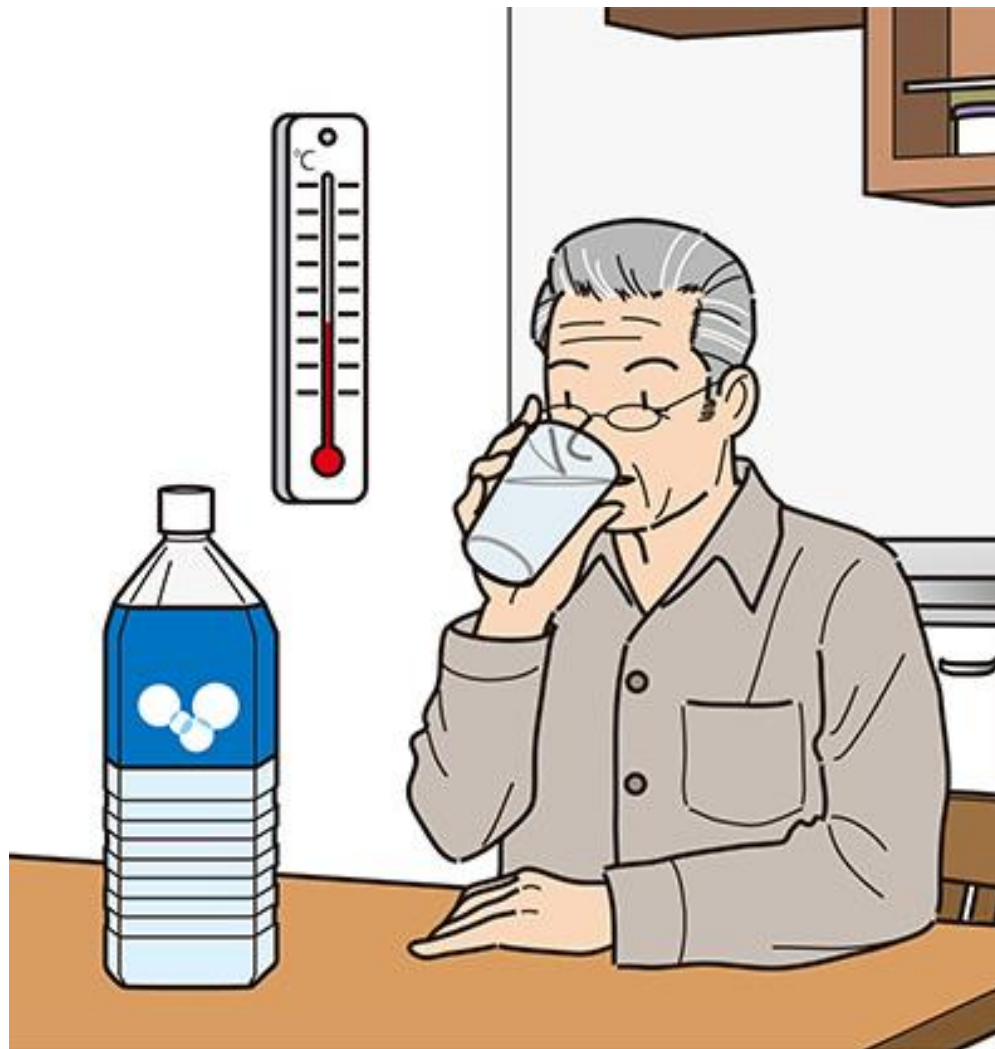
鮮魚部門での切創防止用手袋導入の効果

小売業、飲食店、社会福祉施設の労働災害を防止しよう

労働災害を減少させた好事例の紹介 好事例1:小売業A社(総合スーパーマーケット)より

その他の健康被害防止

熱中症・薬品傷害など



暑さ対策も安全のうち 「水分と休憩」忘れずに

混ぜるな危険！



表示を見て、安全に使おう



基本を守って、元気に働ける職場へ

セッション3

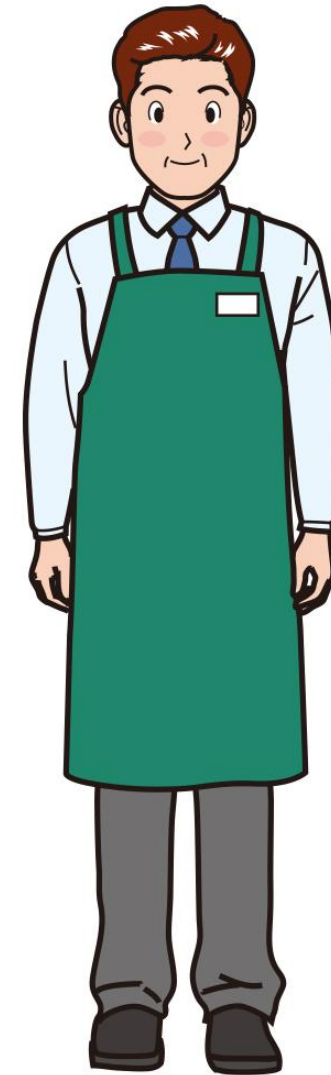
日々店舗責任者のすべきこと



ルール遵守を徹底させる教育指導

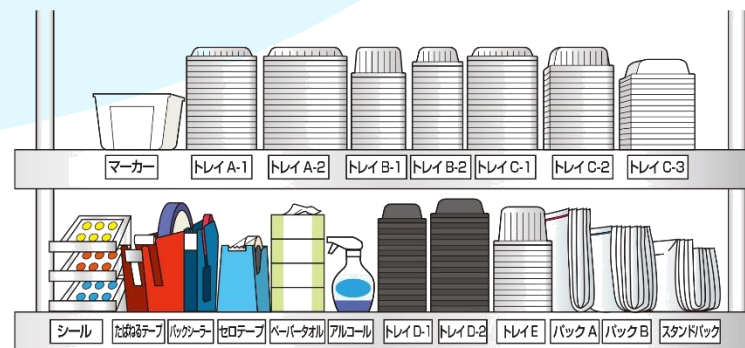


ルールは過去の経験から生まれた教訓



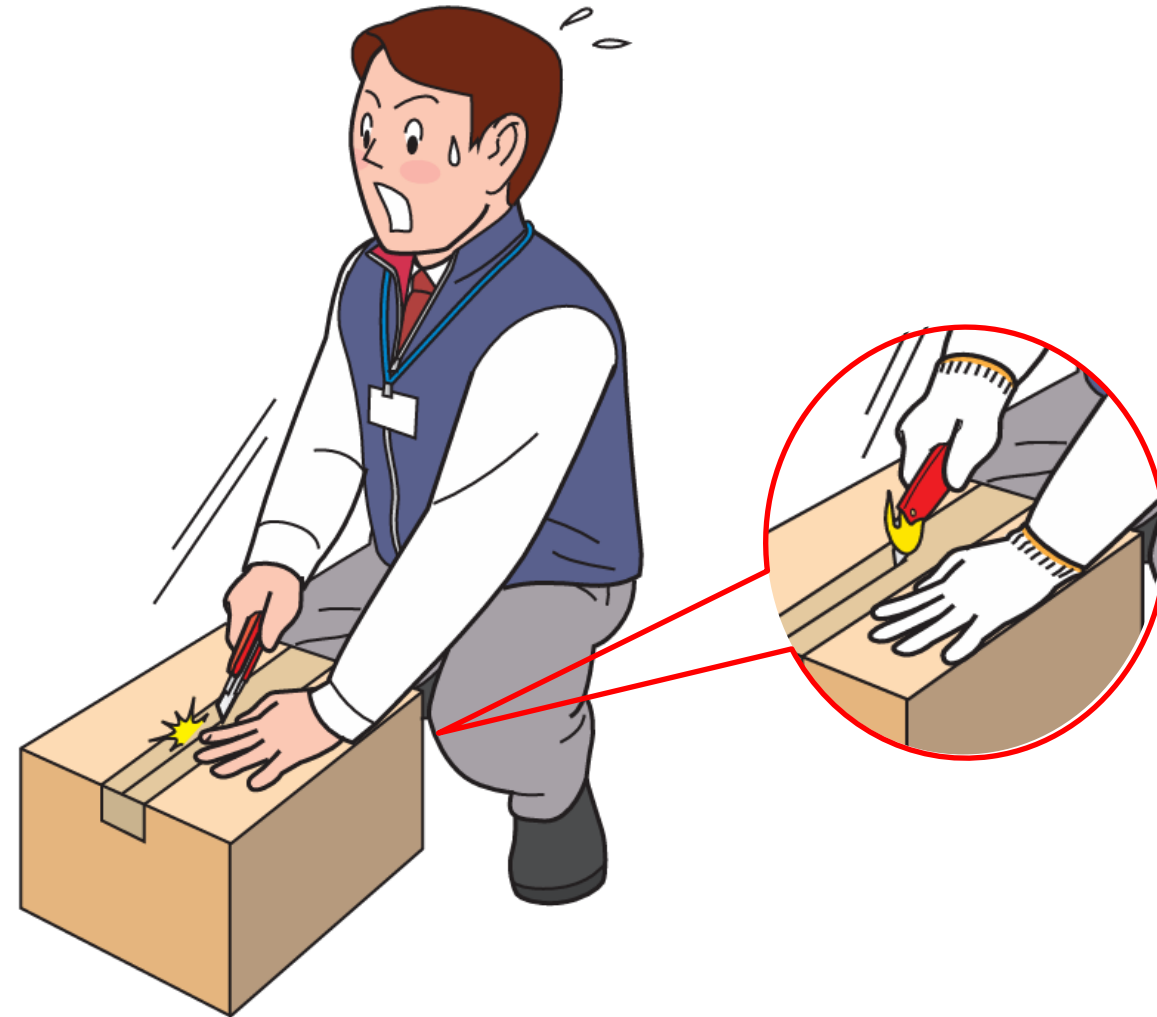
店長・チーフの役割

不安全行動を防ぐためのルール設定





日常的な作業確認と声かけ

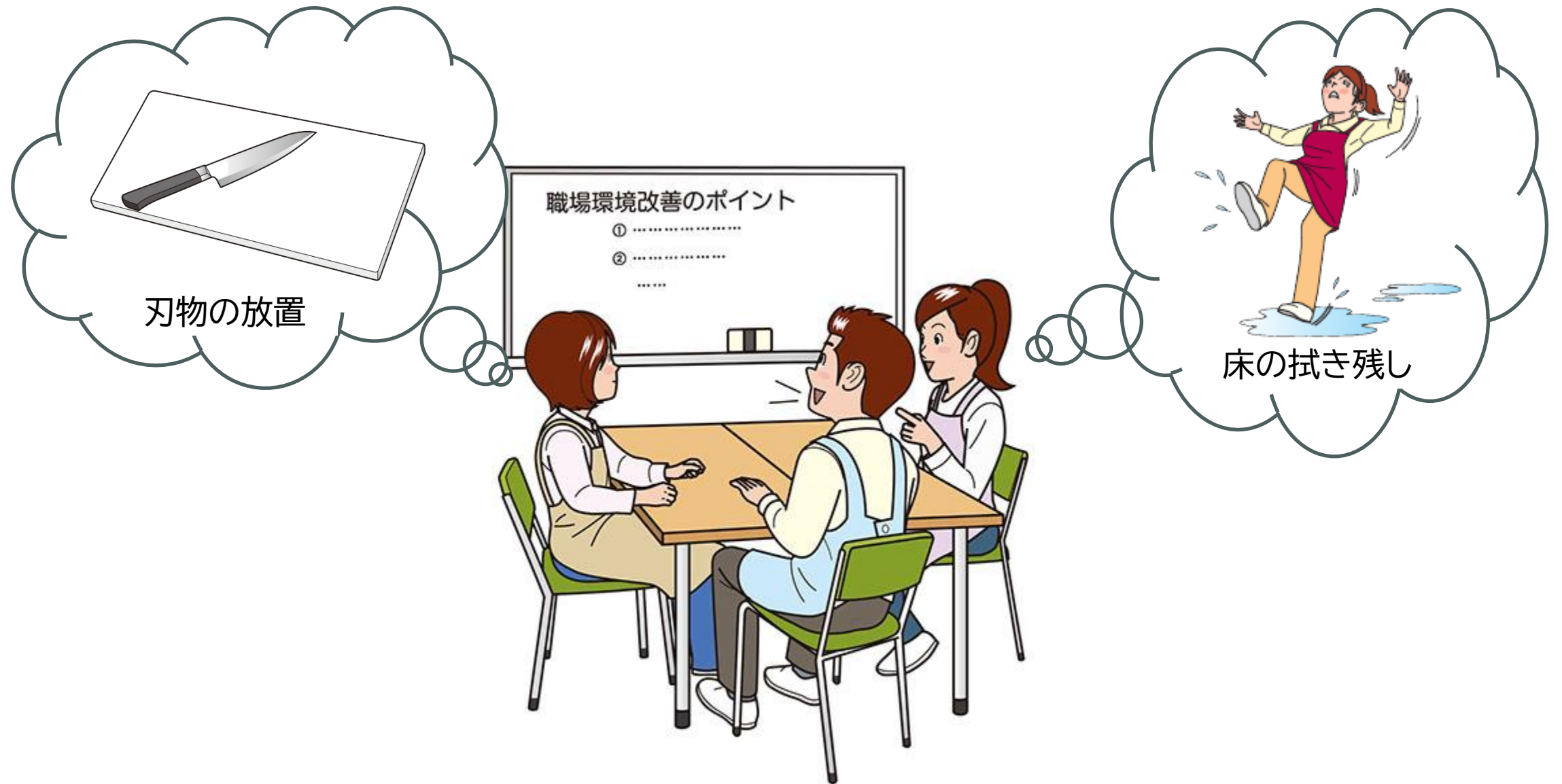


うっかりか？作業のしにくさか？

働く人の意見を反映



守れるルールに改善する



ヒヤリ体験をみんなで共有しよう



声を受け止め改善につなげる店舗責任者の役割

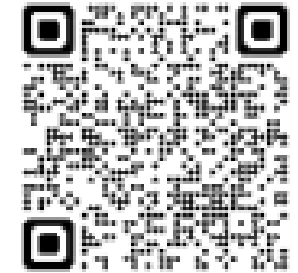




運動習慣は安全対策の一つ

あなたの転倒リスクは？

転びの予防 体力チェック



転びの予防
体力チェック

出典：転びの予防 体力チェック、中央労働災害防止協会（令和3年度厚生労働省補助事業）
<https://www.jisha.or.jp/order2023/korobi/>

転倒予防の第一歩は“気づき”

毎日 **3** 分でできる **人**

転びにくいカラダをつくる
職場エクササイズ

小売業



出典：【小売業】毎日3分でできる 転びにくい体をつくる職場エクササイズ
YouTube 厚生労働省公式チャンネル

毎日の体操でケガ予防

戸惑いやすい点

- 時間厳守
- あいまいな表現
- 上下関係
- 暗黙の了解

理解しづらい理由

- 日本特有の習慣が多い



仲間としての大切な姿勢

- お互いに文化の違いを知る
- 尊重し合う

外国人スタッフが戸惑う文化の違い

短く・はっきり・ゆっくり話す

例：ここ、あぶない。
とおらないでください！

- 身ぶり手ぶりで伝える
- 一緒にやって確認
- 話しやすい雰囲気づくり



外国人スタッフには声かけやサポートを忘れずに

小売業の安全衛生



この視聴覚教材は、スーパーなど小売業に携わる事業場の労働者の皆さまに向けて安全や衛生の基本について学ぶことを目的に作成したものです。

まんが動画教材は
こちら →



日本語・英語・中国語・ベトナム語
タガログ語・クメール語・インドネシア語
タイ語・ミャンマー語・ネパール語
モンゴル語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語
全14言語（厚生労働省提供）

出典：マンガでわかる働く人の安全と健康（教育用教材）、厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13668.html

外国人スタッフ向け安全衛生教育教材の活用



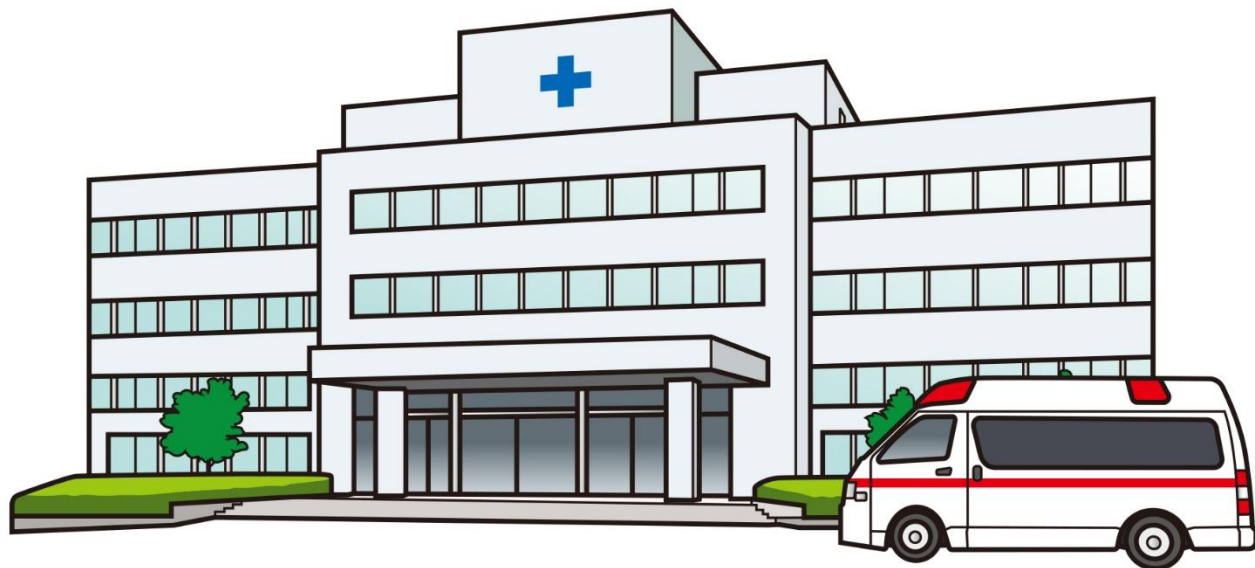
慌てず「順番どおり」に対応する

命を守る

連絡する

記録する

労働災害発生時の基本姿勢



応急手当を行う

応急処置

救急車の手配

医療機関へつなぐ

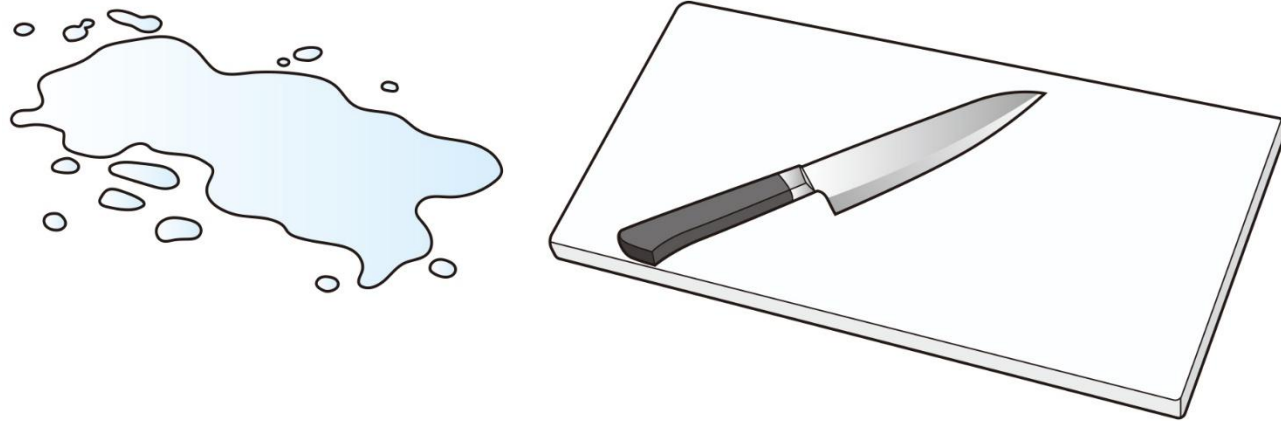
軽傷に見えても必ず受診

スタッフに役割を振り分ける

救急対応

お客様対応

初動対応の3ステップ



初動が落ち着いたら連絡

家族・本部・上司



重篤災害の可能性

警察・労基署へ連絡



現場を動かさない

写真

メモ

聞き取り

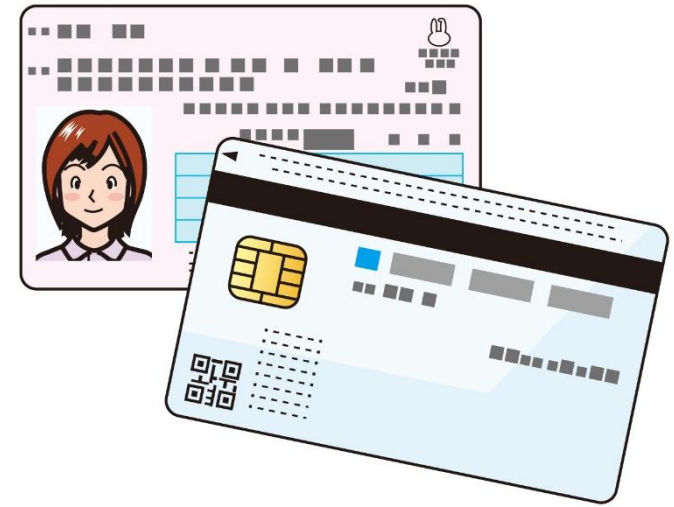
連絡と記録のポイント



労災隠しは行政処分対象
店舗責任者の責任問題に発展



健康保険証(マイナンバーカード)
使えません



病院で「労災です」と伝える



必要に応じて休業補償を申請



+

健康管理

+

声かけ
サポート



ルールと気づきで守る、みんなの安全と健康

「安全で健康に働く」10ポイント

1. 労災は必ず報告・隠さない
2. 小売業で最多は転倒事故
3. 危険な状態 × 危険な行動で事故発生
4. 4S(整理・整頓・清掃・清潔)と定位置管理が安全の基本
5. 現場で守れるルールづくりが重要
6. 高年齢スタッフには環境整備と声かけ
7. 腰痛予防は正しい姿勢と動作
8. 作業別の安全行動(手袋・靴・洗剤)を徹底
9. 外国人スタッフには文化・言語に配慮した伝え方
10. 労災発生時は必ず報告・受診・労災保険の使用

【参考文献・参考資料】

- 動画:小売業向け安全衛生教育動画 労働災害を防ごう！(店長向け)、厚生労働省
- 小売業・飲食店における労働災害防止の進め方、(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
- 小売業における労働災害防止のポイント ～安全で安心な職場をつくるために～
厚生労働省委託事業 小売業における安全管理の推進検討委員会 平成24年3月
- 小売業、飲食店、社会福祉施設の労働災害を防止しよう 労働災害を減少させた好事例の紹介
(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所、厚生労働省
- 小売業における危険の「見える化」厚生労働省
- 小売業の労働災害を防止しよう、(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
- 転倒による労働災害防止の取組み好事例集～転倒しにくい身体づくり～
(特)中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部、令和7年3月

中央労働災害防止協会

